

2009. 8. 20 (木)

徳島新聞

(SALSA)

尿漏れは治る病気です

提供 アズテラス製薬株式会社



徳島大学 泌尿器科学
山本 恭代

40代以上の女性の3人に一人は尿もれがあるというデータがあり、たくさんの女性が悩まれています。残念ながら、羞恥心や年齢によるものだから仕方がないとか、治るものではないと諦めて病院に行かずに過ごしている方も多いようです。

尿もれは大きく分けると「腹圧性尿失禁」と「切迫性尿失禁」があり、ともに有効な治療法があります。

腹圧性尿失禁は、咳やくしゃみ、スポーツなどで腹圧がかかると尿がもれてしまうことをいいます。程度が軽い場合は、骨盤底筋体操（肛門と膣の周囲を締める運動）をお勧めします。毎日継続することが大切です。体操だけでは、よくならない方や一日に何枚も尿パッドを必要とする方は手術が有効です。尿道スリング手術と呼ばれるメッシュ状のテープを両脚の付け根から尿道の下に通し、お腹に力が入った時に尿道をサポートしてもれをなくす方法です。この術式は以前の手術法に比べて合併症も少なく、安全な方法で30分程度で終わり、

有効率も高く、長期間経過しても効果が持続します。

切迫性尿失禁は、おしっこにいききたい感じが突然強く起こって、トイレに行くまでに間に合わずにもれてしまうことをいいます。抗コリン薬という内服薬がよく効きますが、口が渇いたり、便秘などの副作用がみられることもあります。

このように尿もれは治すことが可能です。一度泌尿器科を受診して、あなたの尿もれに合った治療法を主治医とみつけて下さい。

切迫性尿失禁
トイレまで間に合わずに
漏らしてしまう。

